

## 埋蔵文化財センターの活動方針

### 1 使命

当センターは昭和62年の開設以降、埋蔵文化財の調査・研究を積み重ね、様々な活用を行ってきました。一方で、近年、社会環境や県民のニーズは大きく変化しつつあり、調査成果をこれまで以上に多様な視点で見つめ直し、県民の文化の向上に貢献できるような埋蔵文化財の活用を図っていく必要があります。

そのため、①様々な体験を通じた、将来を担う世代の「生きる力」の醸成、②地域で未来の魅力の掘り起こしに役立つような素材の提供という2つの使命の実現を目指し、常に知恵を募り、絞り、「一工夫、一手間」をモットーとして一丸で埋蔵文化財の活用に取り組めます。

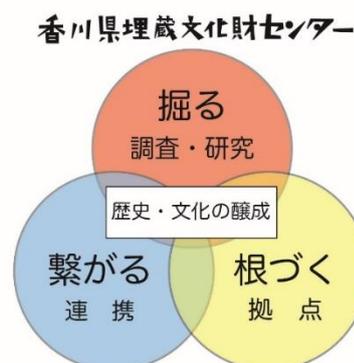
### 2 方針

以下の3つの方針のもと、埋蔵文化財の保存と活用を進めます。

**掘る**：遺跡の発掘調査を通じて、地域の成り立ちや先人たちが刻んだ「暮らしの履歴」の調査を進めるとともに、研究を通じて新たな価値を掘り起こします。

**繋がる**：多様な人、機関、地域と積極的に繋がり、埋蔵文化財の新たな魅力の共創を目指し、様々な活用に取り組めます。

**根づく**：集い、学び、交流、活動できる地域に根づいた場を創出します。



### 3 取組み

#### (1) 地域の歴史・文化の掘り起こし

- ・遺跡の発掘調査、地形、現在に残る文化遺産などのフィールドワーク、研究を通じて、埋没している歴史・文化や新たな価値を様々な観点から掘り起こします。

#### (2) アウトリーチ事業の積極的な実施

- ・専門職員を身近な専門家として位置づけ、職員の派遣を積極的に実施します。
- ・多様なニーズに応じた出前授業等が提案できるよう、学校などの教育機関とのコミュニケーションを大切にします。
- ・教職員向けの講座を実施し、教職員との交流の機会を増やします。

### (3) 体験メニューの充実化

- ・学びだけでなく、遊び、体験、体感を重要視し、就学前の子どもから小学生を対象として「生きる力」を養う体験メニューの充実化を図ります。
- ・復元竪穴住居を活用した「たてあな生活」などのワークショップを積極的に実施します。

### (4) 地域振興に貢献する活動

- ・センターの行事（展示・講座など）に合わせて関係する県内外の地域・人と積極的に連携します。
- ・讃岐国府まつりなどのイベントに積極的に参画するなど、諸団体と相互に協力して讃岐国府跡などの本県の歴史・文化を発信する活動を行います。

### (5) より来訪しやすい環境づくり

- ・当センターを校外（第2）教室として位置づけ、教育機関の利用を促進します。
- ・親しみのもてる工夫や取組み（愛称やキャラクター等の作成・活用）を展示などの様々な活動で積極的に進めます。
- ・就学前の子どもから大人までが楽しめ、安心・安全で、居心地のよい、立ち寄りやすい場をつくります。
- ・休日の開館に向け、土日の行事等を活用した試験的な運用を行います。

### (6) わかりやすい情報発信

- ・讃岐国府跡や発掘調査現場を起点としたまち歩きなどを積極的に実施し、地域の歴史・文化を広く発信します。
- ・本県の歴史文化の魅力、センターや関係機関の活動を、ホームページやSNSを活用してわかりやすく発信します。
- ・ふるさと教育などの学校教育に用いることができるよう、教職員や教育機関等へセンターのワークショップ等の取組みや地域の歴史をわかりやすく発信します。